



繊維素材データベース

～さまざまな生地サンプルを見ることができます～

多摩テクノプラザでは、さまざまな生地サンプルをキーワードで検索し、実際に閲覧できるデータベースを作成しました。新商品の企画開発にご活用ください。

繊維素材データベースとは

繊維素材データベースは、A4サイズの生地サンプル(図1)とその生地を収納したサンプル収納庫(図2)、および生地をキーワード(素材データ)にて検索するコンピュータで構成されています。このデータベースでは、織物やニットの設計項目に加え、外観や風合いといった感性項目からも検索が行えます。検索結果画面には生地サンプルの画像が添付されているため、配色や柄が確認できます。また、生地に付いた識別番号にて、実際に見たいサンプルを容易に探すことができます。生地は触れることができ、風合いを確認できるシステムです。



図1 生地サンプル

生地サンプルに識別番号が添付
検索結果に識別番号が掲載されており、容易な検索が可能



図2 生地サンプル収納庫
添付された識別番号順に収納

生地サンプルと検索項目について

データベース化された生地サンプルは約9千点にも上ります。内訳は織物が約6千点、ニットその他(人工皮革、不織布などを含む)が約3千点です。生地サンプルは、表1に示す項目などについて分類しています。検索パソコンにて、この分類項目に希望のキーワード(素材データ)を入力することで該当するサンプル生地の検索を行うことができます。また外観の特徴や風合いのイメージからも絞り込むことが可能です。

表1 データベースの分類項目とその内容

分類項目	素材データ
糸の原料	綿、毛、絹、ポリエステルなど
糸形態	紡績糸、フィラメント糸、意匠糸など
組織	平織、斜文織、朱子織など
染め	先染、後染、プリントなど
加工方法	縮絨、起毛、アルカリ減量加工など
用途	ジャケット類、ブラウス、ニットシャツ類、ズボンなど
感覚尺度	つや、凹凸、腰、しゃりみ、のびなど5段階で評価

※記載の内容は代表例

素材選択の重要性

商品企画者やデザイナーは、企画を立てる際にコスト面だけでなく、使用する素材の機能性や装飾性について十分に吟味することが重要です。このデータベースは、素材設計や企画に役立つ要素について分析を行い、作成しました。新素材開発ツールとして、あるいは人材育成の教材として、ご活用ください。皆さまのご利用をお待ちしています。

※ご利用は無料です。

繊維・化学グループ <多摩テクノプラザ>
窪寺 健吾 TEL 042-500-1240
E-mail: kubotera.kengo@iri-tokyo.jp